|  |
| --- |
| 交付申請等様式 |

様式第1号（第６条関係）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 年 月 日

公益財団法人京都産業２１　理事長 様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【連携体の代表者】

所　　　在　　　地

名　称　（法人名）

代表者（職・氏名） 印

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【連携事業者】

所　　　在　　　地

名　称　（法人名）

代表者（職・氏名） 印

平成　　年度きょうと農商工連携応援ファンド支援事業助成金交付申請書

下記のとおり助成事業を実施したいので、きょうと農商工連携応援ファンド支援事業助成金交付要領第６条の規定により、助成金の交付を願いたく関係書類を添えて申請します。

記

１　連携事業名（概ね３０字以内で事業内容がわかりやすい名称を記入してください）

２　助成金交付申請額 金 円（千円未満端数切り捨て）

３ 添付資料

(1) 事業計画書

(2) 収支予算書（収入及び支出内訳書）

(3) 決算書又は確定申告書写し

(4) その他参考資料

※申請者欄には、計画を実施する全ての事業者を列記すること。

【添付資料に係る説明事項】

○決算書又は確定申告書写し

　＊　１期分の決算書の写し又は確定申告書の写しを添付してください。

　　・創業予定者は不要。創業後決算未了の方は税務署への事業開始届の写しを添付

○その他参考資料

　　＊　定款、規約、役員名簿、法人登記事項証明書を添付してください（個人及び創業予定者は不要）。

＊　これまでの活動内容、今回実施しようとする事業の概要がわかる資料（写真、イメージ図、新聞記事等）があれば申請書類に添付してください。

＊　施設整備を伴う事業については、設計図書、平面図、見積書、現況の写真、位置図

等を添付してください。

○その他留意事項

　＊　提出書類は、提出いただいた書類は返却しませんので、必要な場合は提出前に

コピーをとって保管して下さい。

様式第1号の1

事 業 計 画 書

１　事業計画の概要

|  |
| --- |
|  事業概要は、以下の例文を参考に記述してください。　 （記入のポイント）　　　どのような農林漁業者がどのような中小企業者と連携して、どのような商品・サ　　ービスを作りだし、どのような人を対象にどのように販売するのかというスタイル　　でを簡潔に記入ください。（３００字程度） |

２－１【農林漁業者】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 農林水産業者 (個人名・法人名・団体名を記載、複数事業　者の場合や団体構成員のリストは別途添付する　こと） | 農業、林業又は漁業を営む個人 |  | 該当する欄に○を付けること |
| 農業、林業又は漁業を営む法人 |  |
| 農林漁業者が組織する法人 |  |
| 農林漁業者が組織する団体 |  |
| 　名　称 | （※個人以外の法人又は団体の場合は代表者名を記載）  |
| 所在地 | 〒TEL　（　　　）　　－　　　　　　　FAX　（　　　）　　－e-mailURL: |
| （担当者） | TEL　（　　　）　　－　　　　　　　FAX　（　　　）　　－e-mail 携帯 |
| ３期分決算推移 | 前々前期（　　　～　　　） | 前々期（　　　～　　　）　 |  前期（　　　～ ） |
| 売上高（千円） |  |  |  |
| 経常利益（千円） |  |  |  |
| 現在の経営の状況 | ※記入のポイント：箇条書きで簡潔に記述してください。(以下同じ）①どこで、どのような農林水産物をどのように生産し、どのように販売しています　か？②経営の規模がわかるように農業の場合は、農地面積、設備機械、ハウス棟数、　従事者数等を記入してください。 |
| 事業の沿革など経営に関する情報　 | ①現在の経営に至るまでの経過（法人・団体等であれば設立から事業展開　までプロセス、個人の場合は主な活動の概要、認定農業者等であること　など地域の農業に果たしている役割を記入のこと）②将来に繋がる経営の展望を記述してください。 |
| 申請者の強みと　弱み　　 | ①強みとして保有している資源，技術、協力体制などを記述してください。②弱みとして経営に当たっての弱点（生産体制、技術力、販売体制など）　を記述してください。 |
| その他 | ①創業の場合は、資金計画及び現在までの準備状況を記入してください。②グループの場合は、メンバー氏名、年齢、経営面積などを別途一覧表に　して記入してください。 |

２－２【中小企業者】

|  |  |
| --- | --- |
| 名　称　(法人名) |  |
| 代表者（職・氏名） |  |
| 従業員数 | 　　　　　　　　　人 | 資本金等 | 　　　　　　　　　　　　　　　千円 |
| 所在地 | 〒TEL　（　　　）　　－　　　　　　　FAX　（　　　）　　－e-mailURL: |
| （担当者） | TEL　（　　　）　　－　　　　　　　FAX　（　　　）　　－e-mail 携帯 |
| 創業時期 |  | 設立時期 |  |
| 業　種 |  |
| ３期分決算推移 | 前々前期（　　　～　　　） | 前々期（　　　～　　　） | 前期（　　　～　　　） |
| 売上高（千円） |  |  |  |
| 経常利益（千円） |  |  |  |
| 主な事業内容　　 | ①どこで、どのような商品をどのように生産・販売していますか？②経営の規模や状況がわかるような情報を記載してください。詳細な事業内容　　は、決算書などからわかる場合は簡潔に記入してください。 |
| 事業の沿革など経営に関する情報　 | ①現在の経営に至るまでの経過（法人・団体等であれば設立から事業展開　までプロセス、個人の場合は主な活動の概要などを記入してください）②将来に繋がる経営の展望を記述してください。 |
| 自社の　強み　　と弱み　 | ①強みとして保有している資源，技術、協力体制などを記述してください。②弱みとして経営に当たっての弱点（生産体制、技術力、販売体制など）　を記述してください。 |
| その他　 | ①創業の場合は、資金計画及び現在までの準備状況を記入してください。 |

３　申請する事業内容

|  |  |
| --- | --- |
| 事 業 の | ※ 該当するもの１つを○で囲んでください。　ア　新しい京都ブランドを創造・発展に資する事業　イ　新たなビジネスで地域経済の発展に資する事業　ウ　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 事業区分 | 創業（　　年　　　月頃）　　　　　経営革新　　（※どちらかを○で囲んでください） |
|  | （概ね３０字以内で事業内容が概観できるタイトルを記入してください） |
| 事業内容 | １で述べた事業概要について以下の点を補足し、イメージ図を用いて詳しく記述してください。①事業の背景、事業がビジネスとして成立すると考える根拠をどのように考え　ていますか？②商品・サービスの内容・特徴は何ですか？③事業はどのようなシステムで動かすのかわかるような事業のイメージ図を記載してください。　(例) 　　　　　　　　　　　　　　　試作依頼 供給アイデアの具体化研究開発試作販売フィードバック新商品開発・販売 |
| 実施期間 | 　　　　　年　　　月　～　　　　年　　　月 |
| 事業実施スケジュール | （実施時期＜初年度・ 次年度・ 助成期間終了後＞・実施項目・実施者を時系列に沿って記載） |

|  |  |
| --- | --- |
| 市場や顧客のニーズ、この事業が必要とされる社会的背景 | ①市場や顧客のニーズをどのように分析していますか？②事業が必要とされる社会的背景をどのように考えていますか？ |
| 競合する商品・サービスとの違い（優位性・新規性） | ①競合する商品やサービスはありますか？②生産される商品やサービスに優位性や新規性をどのように考えていますか？ |
| 販売先等顧客ターゲット、市場規模 | ①商品やサービスを購入する人は誰ですか？ その商品等の購入者はどこにどれくらい存在し、市場規模をどのように考えていますか？③商品等の販売戦略・方法はどのようなものですか？ |
| 地域経済への予想される波及効果（ブランド化・雇用など） | ①新商品の売上高　　　　万円(平成　　年度)②本連携に伴う新規雇用者創出数　　　　人(平成　　年度、連携体全体)③ブランドの確立､その他　　 |

|  |  |
| --- | --- |
| 本事業に関する経営者等の経験や能力、資格等 |  |
| 本事業を実施する体制、設備 | ①事業実施に当たり農林漁業者と中小企業者はどのように連携していきます　　か？また、それぞれの役割はどのようなものですか？②本事業実施に当たってどれくらいのマンパワーを投入できますか？・農林水産事業者・中小企業者別に事業従事日数　　　　　○人　　○日／月③連携事業者のほか大学等試験研究機関等の支援協力を受けるもの等について記　載してください。④売上利益の配分はどのように計画していますか？ |
| 本事業を実施する上での課題と対応 | ①事業化に際して解決すべき課題がありますか？②課題がある場合、どのようなハンズオン支援が必要ですか？　必要　　　不要　理由③事業を実施することにより事業拡大や経営の多角化に向けた展望はありますか？ |
| 助成後の成長見込み |
|  助成後の成長見　込み | ①この事業を実施することで，農林漁業者と中小企業者はどのよ　うに変化しますか？　農林漁業者　中小企業者 |
| 【農林漁業者】 | 助成事業実施年度 （　／　～ ／ ) | 助成事業終了翌年度 （　／　～ ／ ) | 助成事業開始から５年後（　／　～ ／ ) | 助成事業開始から10年後 （　／　～ ／ ) |
| この事業に係る売上高（千円） |  |  |  |  |
| 営業利益（千円） |  |  |  |  |
| 雇　　用（人） |  |  |  |  |
| 【中小企業者】 | 助成事業実施年度（　／　～ ／ )　  | 助成事業　終了翌年度 （　／　～ ／ )  | 助成事業開始から５年後（　／　～ ／ )  | 助成事業開始から10年後 （　／　～ ／ )  |
| この事業に係る売上高（千円） |  |  |  |  |
| 営業利益（千円） |  |  |  |  |
| 雇　　用（人） |  |  |  |  |

様式第１号の２

収 支 予 算 書

１　収入内訳　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：円)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　分 | 連携事業に要する経費 | 備　　　　考 |
| 助成金自己資金借入金その他 | 　　　　　　　　　　　　　　円　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |  |
| 合　計 | 円 |  |

２　支出内訳　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 連携事業に要する経費 | 助成対象経費 | 助成金申請額 | 積算根拠 |
| 事業費事務費その他 |  |  |  | （別紙明細添付） |
| 合　　　　　計 | 円 | 円 | 円 |  |

＊助成金申請額は助成対象経費の合計額の3分の２以内、最大300万円以内とし、千円未満の端数は切り捨てる。

＊支出内訳は、対象経費の区分項目により記載すること。

＊助成対象経費の明細は別紙により積算根拠明細を添付すること。